

# 北区児童館・児童センターの施設集約と児童館事業の区内拡充へ向けた対話について

## 1 概要

老朽化が進む葛塚東児童館（昭和54年建）、早通児童センター（昭和56年建）を集約するとともに、豊栄児童センター、三ツ森児童館を拠点に出張児童館などの児童館機能を区内拡充することについて、利用者や地域との対話を行い、計画案を作成する。

## 2 背景

### (1) 本市の公共施設が迎えている問題

本市の公共施設の1人当たり面積は政令市最大となっている。加えて昭和50年代に集中的に整備された公共施設の老朽化が進み、修繕や建替えの時期が一斉に到来することとなる。一方、少子・超高齢化が進むことなどを考慮すると、今ある全ての施設を安全に維持していくことは困難な状況にある。

### (2) 本市の児童館の配置方針

本市では公共施設の総量削減とサービス機能の維持を図るため、令和2年3月に「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」を定めた。方針では、児童館は今後、新設や更新をせず、学校を始めとする地域の既存施設への機能移転を考えていくこととしている。

### (3) 北区の現状

市内の公設児童館12施設のうち、4施設が北区にある。いずれも旧豊栄市域に集中しており、北地区には児童館施設がなく、平成30年度には放課後児童クラブと児童館が併設されている施設の設置にかかる請願が採択された。このことも踏まえ、令和4年度より児童館機能の区内拡充を試行実施している。

## 3 児童館機能の区内拡充へ向けた令和4年度の取組み状況

R4.11.30 現在

項目	内容	実施状況
出張児童館	区内の公共施設等へ児童館職員が出向き児童館活動を実施	北地区公民館、濁川小など14回
児童館事業のあり方を考える座談会	参加者：児童館運営委員、主任児童委員、公募等の地域住民	第1回：10月28日 第2回：12月2日
子育て支援マスター派遣事業（区づくり事業）	子どもの居場所づくりに取り組む地域団体が実施する子育てに関連する催しに講師をマッチングし、講師料を負担	登録講師：6名 1団体 派遣回数：2回

## 4 施設の現状

葛塚東児童館、早通児童センターは老朽化が進行し、遊戯室やトイレ等の雨漏りが発生。適宜、補修は実施しているものの大規模改修は行っておらず、安全にサービスを提供することが困難になりつつある。豊栄児童センター、三ツ森児童館は大きな修繕などの必要はなく、運営上の課題はない。



## 5 対話について

利用者や地域に対し、現時点での本市の考え方を示し、以下のとおり対話を開始する。

(主なスケジュール)

12月15日 市民厚生常任委員会協議会報告

22日 北区自治協議会報告

R5.1月～ 北区だより等による周知

1月下旬～2月中旬 オープンハウス（パネル展示型説明会）による本市の考え方提示・意見聴取

—意見をもとに計画案を検討—

3月中旬 オープンハウスによる計画案提示・意見聴取

4月～ —意見をもとに計画を検討—

(参考) 北区児童館施設の概況

開館時間：豊栄児童センターは午前9時から午後7時まで、他は午前9時から午後5時まで  
休館日：豊栄児童センターは年末年始、他は日・祝および年末年始

児童館名	所在地	面積 (㎡)	構造	建築年	利用者数(人)	
					R3	H29～R元平均
葛塚東児童館	北区太田甲 5762-1	353.8	鉄骨造	昭和54年	6,994	12,822
豊栄児童センター	北区東栄町 2-14-26	519.2	鉄骨造	平成21年	12,956	27,303
三ツ森児童館	北区高森 429	235.7	鉄骨造	平成12年	6,683	13,332
早通児童センター	北区早通 37-1	336.9	鉄骨造	昭和56年	8,509	17,066